



<p>① 門池：鎌倉時代から自然の溜池として利用され、江戸時代からは牧堰用水の補助用水として重要な役割を果たしました。現在は四季折々、自然豊かな公園として親しまれています。</p>	<p>② 震災追弔(ついちょう)碑：安政元年(1854)、遠州灘沖でM8.4の巨大地震が発生し、沼津でも震度6の揺れに襲われた。小林村では地盤が300mに渡って陥没し、11名が生き埋めになりました。</p>
<p>③ 鮎壺の滝：約1万年前の新富士火山の噴火により流れ出た溶岩流の末端部で滝が形成されました。鎌倉時代の初め、源頼朝の嫡子を新り滝に身を投げた亀鶴姫の伝説が伝わります。</p>	<p>④ 割狐塚稲荷神社(わりこづかいなりじんじや)：三島溶岩流の末端に形成された溶岩塚の亀裂にキツネが住みついたと言われます。祭神は宇迦之御魂神(うかのみたまのみかみ)で、五穀豊穡の神様。</p>
<p>⑤ 牧堰(まさげさ)：江戸時代初期、三枚橋城主・大久保忠佐(ただすけ)の命により黄瀬川に堰が築かれ、牧堰・門池用水が開かれた。この用水は400年にわたって大地を潤しました。</p>	<p>⑥ 取水口：昭和3年(1928)、牧堰・門池用水の機能を強化するため用水路と門池を結ぶ約420mの導水トンネルが建設されました。牧堰用水の水の一部は、この取水口から門池に流れてきます。</p>
<p>⑦ 三明寺経塚：享保19年(1734)、暴風のため倒れた老松の下から大規模な経筒が発見されました。鎌倉初期に末法思想の影響を受けて埋納された写経で、貴重な文化財です。</p>	<p>★コース全体の特色：今から1万年前の富士山噴火による溶岩流の痕跡と400年前に造られた牧堰・門池用水を、ガイドと一緒に巡ります。自然の大きな力と人間の努力の営みを感じさせるコースです。</p>